

第18回 グリーンエネルギーCO2 削減相当量認証委員会 議事要旨

グリーンエネルギーCO2 削減相当量認証委員会事務局

日 時：平成29年6月7日（水）10：00－10：40

場 所：経済産業省別館8階850会議室

出席委員：山地委員長、浅野委員、亀山委員、村井委員

1. 挨拶

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課再生可能エネルギー推進室長から挨拶。

2. 委員の確認

事務局から欠席委員について報告。

3. 本年度の委員長の承認

前年度に引き続き、山地委員を委員長とすることについて、異議なく承認。

4. グリーンエネルギーCO2 削減相計画の認定について

事務局から資料1-1、1-2、1-3に基づき、認定申請について説明。異議なく承認（委員会への出席が困難であった秋澤委員、石塚委員は書面回答にて承認）。

5. グリーンエネルギーCO2 削減相当量の認証について

事務局から資料2-1、2-2、2-3に基づき、認証申請について説明。各委員からの発言及び質疑。その後、異議なく承認（委員会への出席が困難であった秋澤委員、石塚委員は書面回答にて承認）。

（浅野委員）認証対象年度は昨年度に限らず、案件により異なるとの理解でよいか。

（事務局）認証がされていない場合は過年度を対象とした認証も認めているため、認証年度は案件ごとに異なる。

6. 認定グリーンエネルギーCO2 削減計画の変更の認証について

事務局から資料3-1、3-2、3-3に基づき、削減計画の変更について説明。異議なく承認（委員会への出席が困難であった秋澤委員、石塚委員は書面回答にて承認）。

7. グリーンエネルギーCO2削減相当量を取り巻く現状と対応方針について

事務局から資料4に基づき説明。以下、温対法に基づく電気事業者の排出係数の計算に活用可能となったことを受けた本制度の対応方針について、各委員からの発言及び質疑。その後、異議なく承認（委員会への出席が困難であった秋澤委員、石塚委員は書面回答にて承認）。

（山地委員）環境配慮契約法の側でのグリーン電力・熱証書の扱いについて今年度議論する予定があるため、状況が変わる可能性もあるが、現時点ではこうした対応が必要である。

（村井委員）スライド6・7において、ダブルカウントとあるが、趣旨としてはダブルユースとの理解でよいか。

（山地委員）そう理解いただいて問題ない。

7. 今後のスケジュールについて、

事務局から資料5に基づいて説明。スケジュールについて異議なく承認。

8. その他の連絡事項について

（事務局より参考資料について説明）

事務局から参考資料1に基づいて電力排出係数の更新について、参考資料2及び3に基づいて運営規則の改定について、参考資料4に基づいて様式の改定について、参考資料5、6、7に基づいてグリーンエネルギーCO2削減相当量制度の現状及びグリーン電力証書の動向について、参考資料8に基づいてグリーン熱の所内供給の定義について、参考資料9に基づいて配分計画（実績）の変更について説明。以下、関連する発言及び質疑。

（浅野委員）参考資料6の3スライドにおいて、グリーン電力設備認定数が平成28年度は386件と激変しているが、何か理由はあるのか。

（グリーンエネルギー認証センター）東京都の設備で640件の取り消しがあったため、平成28年度末で386件となっている。

以上